

令和7年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

東広島市立福富小学校

達成目標

○体力合計点の総合評価ED率を全校平均で30%以下にする。

学校の状況

- ・中学校と施設一体型の小中一貫校となって5年目を迎える。
- ・山間地にある児童82名の小規模校である。
- ・バス通学の児童の割合が高い。
- ・運動場が広く、グラウンドの周辺には登り棒や雲梯、滑り台、ブランコ等の施設がある。

児童の運動・生活習慣の実態

- ・バス通学の児童の割合が90%を超えており、運動不足の傾向がある。

新体力テスト、アンケート調査等 調査結果との比較から

- ・男子
多くの項目で県平均、全国平均値を上回っているものの、「長座体前屈」には課題がある。
- ・女子
「握力」、「長座体前屈」、「反復横とび」において、県平均、全国平均値を下回っている。
- ・共通
・「長座体前屈」の記録で県平均・全国平均を下回っている児童が多い。

実態把握

児童生徒の実態や新体力テスト等から 明らかになった課題

- ① 運動をする時間が1時間未満の児童割合が多く、約68%であった。
- ② 運動習慣のない児童が多くみられる。
- ③ 全校(3年～6年)でのED率(総合評価のD+E/全児童の割合)は36%と高く、基礎体力がっていない児童が多い。

以上のことから、体を動かす習慣を身に付けていくことが必要である。

取組事項

【体育の授業で行う取組】

- ・サーキットトレーニングにマット運動を取り入れることで、瞬発力や柔軟性を高める。
- ・マット運動の運動機会を増やすため、マットを購入する。
- ・主に高学年を対象に、中学校教諭をTTとして配置し、指導に専門性や系統性を持たせることで、運動に対する興味・関心を高める。
- ・体力づくり推進委員会を中心に6年間を見通した単元の系統性を整理し、学習活動の充実を図る。
- ・授業導入時に柔軟体操や補強運動(バービージャンプ)を取り入れる。

【体育の授業以外で行う取組】

- ・東広島市陸上記録会の放課後練習に4年生から参加できるようにする。
- ・陸上・水泳記録会やドッジボール大会など、対象学年でない学年にも様子が分かるように校内掲示をして、様子が分かるようにしたり目標にしたりすることができるようにする。
- ・環境、体育委員会を中心に、ロング大休憩を活用して全校遊びを行う。
- ・長期休暇で、家庭での体力向上トレーニングができるように協力をあおぐ。
- ・タイヤを設置し、グラウンドでのサーキットトレーニングにタイヤ渡りを導入することで、平衡感覚や持久力向上を目指す。

期待される効果

- 主体的に運動に取り組もうとする児童の育成
- 運動やスポーツを仲間と協力して楽しもうとする児童の育成
- 様々な運動を知ることにより、生涯通しての日々の体力づくりを習慣化できる。
- 集団遊びの機会の保障による、外遊びの機会の増加。

体制

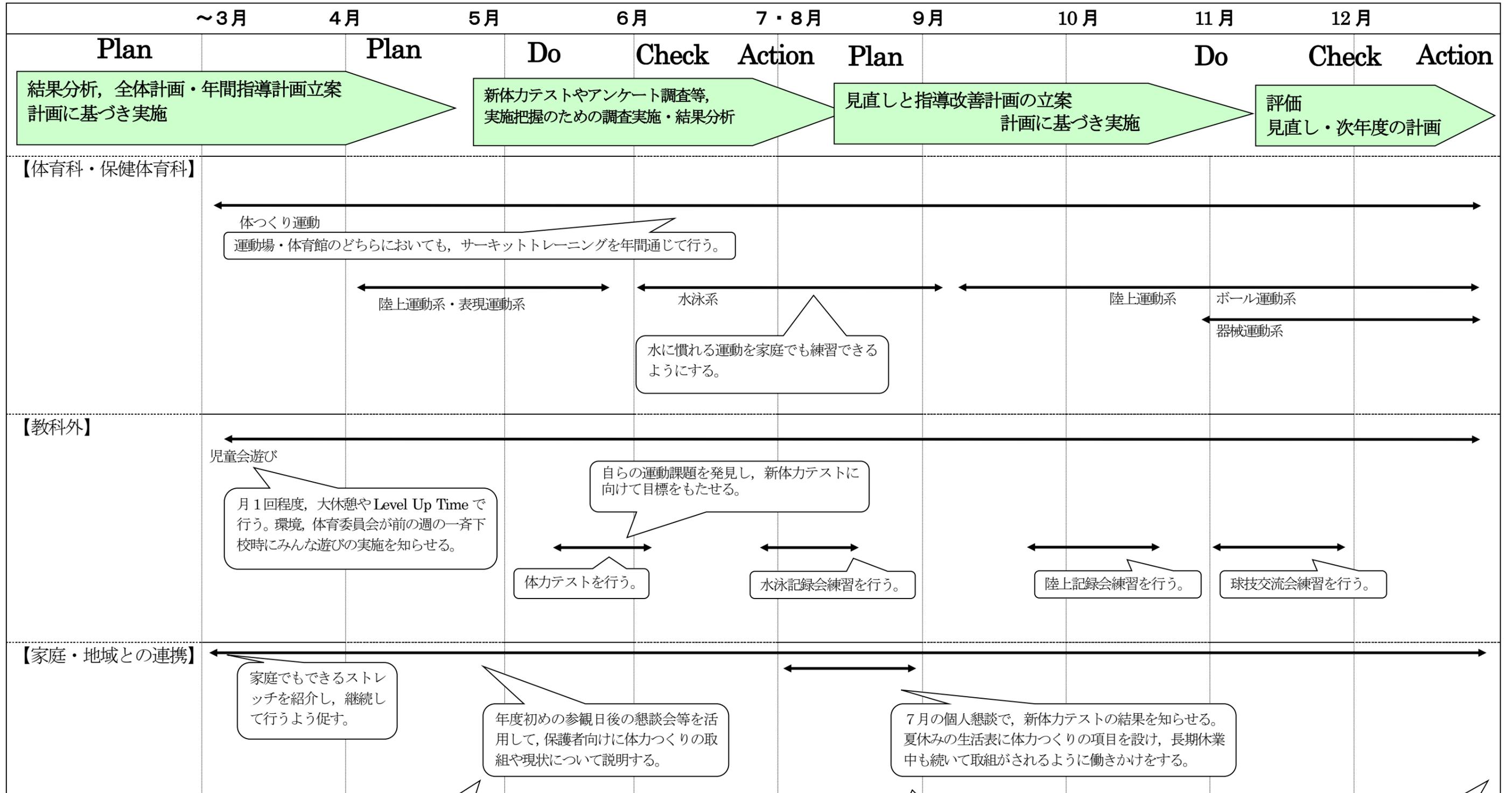
- ・体力づくり推進委員会(校長、教頭、体育主任・保健主事)を設置し、校務分掌部会「生徒指導部」を中心に推進していく。
- ・原則、年3回(4月・8月・1月)の委員会を開催し、検討と改善をしていく。

令和7年度体力づくり推進計画 <年間指導計画>

東広島市立福富小学校

達成目標

○体育の授業、授業以外で行う取組を通して、運動に親しみ、主体的に取り組むことができる



第1回体力づくり推進委員会 4/25 (金)
・R7年度 体力づくり推進計画について
・今年度の流れの確認 等

第2回体力づくり推進委員会 8/29 (金)
・今年度の取組について経過報告
・体力テストの結果について 等

第3回体力づくり推進委員会 1/6 (火)
・HPにUP用の改善計画案
・今年度の振り返りや来年度について 等